

## 4 救急車を呼ぶときは

救急車を呼ぶときの番号は「119番」です。  
 応急手当が必要な場合は、消防本部から電話で指示されることがあります。  
 いざというときのためにも、正しい応急手当を身につけておきましょう。  
 ※お近くの消防署では応急手当の講習を行っています。

119番通報をすると、指令員が救急車の出動に必要なことを、順番にお伺いします。  
 緊急性が高い場合は、すべてお伺いする前でも救急車が出動します。  
 あわてず、ゆっくりと教えてください。



項目	応答例
<b>1 救急であることを伝える</b> 119番通報したら、まず「救急です」と伝えましょう。	指令員「119番、火事ですか？救急ですか？」 あなた「救急です」
<b>2 救急車に来てほしい住所を伝える</b> 住所は、必ず市町村名から伝えましょう。住所がわからない時は近くの大きな建物、交差点など目印になるものを伝えます。	指令員「住所はどこですか？」 あなた「〇〇市〇〇町〇丁目〇番地です」
<b>3 子どもの症状を伝える</b> 最初に、誰が、どのようにして、どうなったと簡潔に伝えましょう。 また、わかる範囲で意識、呼吸の有無等を伝えましょう。	指令員「どうしましたか？」 あなた「子どもがけいれんを起こして、意識がありません」
<b>4 子どもの年齢や性別を伝える</b> お子さんの年齢や性別を伝えましょう。	指令員「おいくつですか？男の子ですか？女の子ですか？」 あなた「3歳の男の子です」
<b>5 あなたのお名前と連絡先を伝える</b> あなたのお名前と119番通報後も連絡可能な電話番号を伝えましょう。 場所が不明な時などに、問い合わせることがあります。	指令員「あなたの名前と連絡先を教えてください」 あなた「私の名前は、〇△×子です。電話番号は ***-****-**** です」

### 救急車を呼んだら、こんな物を用意しておく便利です。

- 母子健康手帳
- 診察券
- 紙おむつ
- 健康保険証
- お薬手帳
- タオル、着替え
- 子ども医療受給者証
- お金
- 気に入っているおもちゃ など

### 救急車が来たら、こんなことを伝えてください。

- 事故や具合が悪くなった状況
- 持病、かかりつけの医療機関
- 救急隊が到着するまでの変化
- 普段飲んでいる薬、医師の指示
- 行った応急手当の内容
- など



## ためらわず救急車を呼んでほしい症状：小児(15歳未満)

**こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！**  
**重大な病気やけがの可能性あります。**

### 顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

### 頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

### 胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

### おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

### 手足

- 手足が硬直している

### 意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

### けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

### 飲み込み

- 変なものを飲み込んで、意識がない

### じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

### やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

### 事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

### 生まれて3か月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

